

東武鉄道東上本線(大山駅付近)連続立体交差事業

工事説明会でいただいた主な質問及びその回答

○概要

東武鉄道東上本線（大山駅付近）連続立体交差事業において、東武鉄道(株)主催による工事説明会を開催いたしました。

- ・ 日 時 : 令和6年11月9日(土) 14:00-15:30
令和6年11月14日(木) 20:00-21:30
- ・ 場 所 : 板橋区立文化会館

○説明資料（配布資料）

- ・ 東武鉄道東上本線（大山駅付近）連続立体交差事業等について（事業パンフレット）
- ・ 工事の概要に関する説明資料



事業パンフレット



説明資料

○いただいた主なご質問とその回答

Q1.

- ・ 工事中、高架化後の改札口の位置はどのようなのか。

A1.

- ・ 工事中は、東口臨時改札口の駐輪場付近と、遊座大山の通りに面して改札口を設置する予定です。（[説明資料](#)p.31）
- ・ 高架化後は、現在の改札口と大きく変わらない位置に設置する予定です。詳細が固まり次第、皆様にお知らせします。

Q2.

- ・完成後の駅舎の高さは階高で言うとどの程度になるのか。
- ・完成後の駅舎は平面的にどのような位置になるのか。

A2.

- ・駅舎の最大高さは約16mであり、階高にすると4～5階高さに相当します。また、平面的な位置関係は、都市計画線を参照ください。
- ・駅舎については今後のデザイン等の検討を踏まえ、詳細が決まり次第、皆様にお知らせします。

Q3.

- ・工事に関する周知はどのような方法を予定しているか。
- ・夜間工事がいつ行われるのか、事前に説明はあるのか。
- ・詳細な工程はいつどのように説明があるのか。

A3.

- ・工事に関するお知らせは、広報看板やお知らせ配布等を行う予定です。
- ・今後、具体的な施工計画を検討し、詳細な工程表を広報看板等を通じて周知いたします。

Q4.

- ・工事中に撤去となる駐輪場の利用者に対し、代替駐輪場への優先的なあっせんはあるのか。

A4.

- ・代替候補地が無い場合、現時点では予定しておりませんが、今後、地元区等とも調整するなどして検討いたします。

Q5.

- ・仮付替道路上で路上駐車等が発生し、安全対策上の状況が変わるのではないかと懸念されています。

A5.

- ・関係法令の遵守、安全運転の徹底、ガードマン設置による安全の確保、清掃等による周辺道路環境の保全等により、周辺の安全対策を実施いたします。

Q6.

- ・夜間工事に伴う補償はあるのか。

A6.

- ・工事中の騒音振動に関する個別の補償は考えておりません。
- ・低騒音・低振動型の機械を採用し、できる限り騒音振動を出さないよう努めてまいります。

Q7.
 ・高架化により勾配が変わることにより、過去に発生した中板橋駅における脱線事故等は発生しないのか。安定的な運行ができるのか。

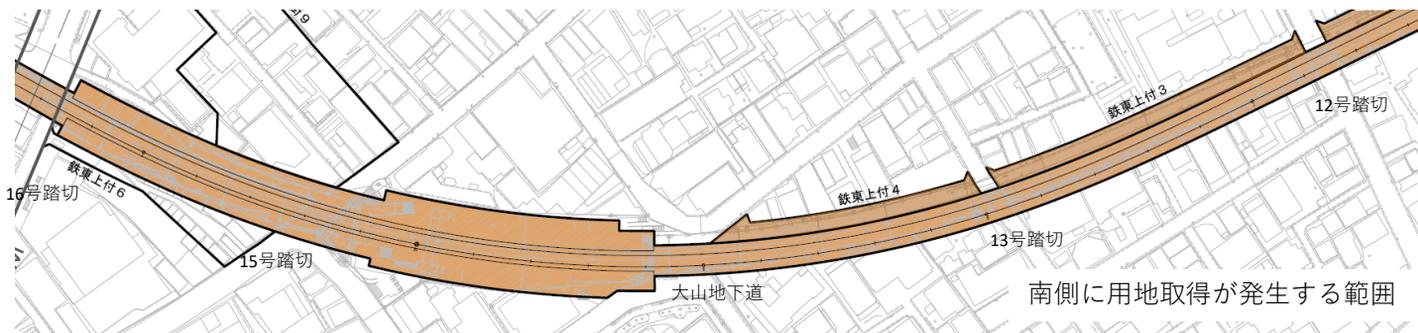
A7.
 ・国が定める「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」や東武鉄道の実施基準に基づき勾配や曲線を設定しているため、問題ありません。

Q8.
 ・高架化に伴い、ホームドアは設置されるのか。高架化されるタイミングでの設置となるのか。

A8.
 ・東武鉄道(株)の設備投資計画において、池袋駅～川越駅間について2035年度までにホームドアを整備することとして公表しており、大山駅についても整備を進めていきます。
 ・設置の時期については、高架化後に速やかに稼働できるよう、今後検討いたします。

Q9.
 ・線路の南側に用地取得は発生するのか。その場合、当初の都市計画線から変更があったということなのか。
 ・南側の用地取得業務は、誰が行うのか。

A9.
 ・現在の鉄道用地内を最大限に活用することを基本に計画しましたが、現在の鉄道用地では収まらず、一部、南側において現在の鉄道用地の外側にも用地取得が必要となります。
 ・区事業となる鉄道附属街路5号、鉄道附属街路6号においては、板橋区が用地取得を行います。
 ・上記以外は、東京都道路整備保全公社が用地取得を行います。
 ・本事業は令和元年12月に都市計画決定して以降、都市計画変更はしていません。



※都市計画図は、パンフレットに記載の東京都、板橋区にてご覧いただけます。